

県内からの入隊・入校予定者を支援



長崎地本（本部長 西田洋一郎 1海佐）は、3月下旬から4月上旬にかけて、全国各地の教育部隊や学校に長崎県内から入隊・入校する予定者に対する支援を行いました。

今年、陸海空自衛隊、陸自高等工科学校、防衛大学校、防衛医科大学校に320名余りの若者が着隊、着校しました。入隊者は、早ければ夏にも自衛官として部隊へ配属される予定です。



初めて地元を離れて生活するという若者がほとんどであり、空港などに見送りに来た保護者や友人としばしの別れを惜しむ光景には、引率支援する地本部長も目頭を熱くしました。自衛官への扉を開いた彼らの国を思う心に敬意を払うとともに、教育訓練を終え、立派な自衛官となり長崎へ戻ってくることを地本部長一同心待ちにしています。

（募集課）



発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
Tel. 095-826-8844



長崎地本公式HP



長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram

予備自衛官補採用試験を実施



長崎地本（本部長 西田洋一郎 1海佐）は、3月3日（水）、長崎防衛支局（支局長 三原祐和 防衛事務官）と協同し、合同庁舎消防訓練を実施しました。この訓練は、全国火災予防運動の期間にあわせて年2回を基準に実施しているもので、火災予防意識の高揚と初期消火態勢の確立を目的としています。訓練では、本部庁舎内における防火設備の点検・確認にはじまり、火災発生時における初期消火・避難誘導等、各人の任務に基づき一連の行動を確認しました。

「その火事を防ぐあなたに 金メダル」

本訓練に引き続き機会教育として心肺蘇生法及びAEDの使用法について教育し、人命救助に係る知識の涵養を図りました。

隊員は真剣に訓練に臨み、本訓練を通じて火災予防の重要性を再認識するとともに、教育を通じて基本的な人命救助法を習得し、大変有意義な訓練となりました。引き続き防火態勢を維持してまいります。

（総務課）



長崎地本（本部長 西田洋一郎 1海佐）は、4月17日（土）に令和3年度最初の採用試験となる予備自衛官補の採用試験を陸上自衛隊大村駐屯地で実施しました。

予備自衛官補とは、一般の社会人や学生といった自衛官未経験者を採用し、所定の教育訓練修了後に予備自衛官として任用する制度です。将来にわたって防衛基盤の育成や拡大を図るとともに、自衛隊の役割の多様化に対し民間の優れた専門技術を有効的に活用していくことを目的としています。

今回は、種目一般を18歳以上34歳未満の方が16名、種目技術を18歳以上で語学や医療技術などの国家免許資格等を有する方が4名であわせて20名が受験し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した試験会場において、やや緊張した面持ちで試験に臨みました。

本試験の合格発表は5月21日（金）ですが、1人でも多くの合格者が出ることを期待します。

（募集課）



国家を守る、
公務員。
自衛官募集集中



長崎地本（本部長 西田洋一郎 1 等海佐）は 3 月、予備自衛官等協力事業所表示制度に係る大臣認定企業及び地本長認定企業に対し認定証を交付しました。

本制度は、予備自衛官等の雇用を通じ、社会貢献を果たしていることを防衛省として認定・称揚することで予備自衛官等制度に対する社会的な関心・理解を深め、同制度の円滑な運営に資することを目的とした制度であり、今年度県内企業 4 社（大臣認定 2 社、地本長認定 2 社）を新たに認定しました。

今回、大臣認定となった有限会社ぼてとの里（南島原市）、大村屋葬儀社（平戸市）の 2 社は、令和 2 年 7 月豪雨の際に即応予備自衛官を災害派遣に出頭させるなど予備自衛官等制度に深くご協力いただいています。また、株式会社ケンオウ（諫早市）、有限会社グランドエアサービス（大村市）は、長年にわたり多数の予備自衛官を雇用していた地本長認定となりました。

認定証を受け取ったそれぞれの会社代表からは、「大臣認定していただきありがとうございます。企業として協力できることはこれからもしっかりと働いてくれるので助かっている。会社からも予備自衛官になるよう促していきたい。」

「企業活動を通して社会貢献に繋げたい。」等とお言葉を頂きました。

長崎地本は、本制度を活用し予備自衛官等雇用企業との連携強化に努め、訓練等に出頭しやすい環境作りや予備自衛官等制度の理解促進を図っていきます。

（援護課）

予備自衛官等協力事業所認定証を交付



大臣認定企業 (有)ぼてとの里



大臣認定企業 大村屋葬儀社



地本長認定企業 (有)長崎グランドエアサービス



地本長認定企業 (株)ケンオウ

防衛医科大学校への第一歩！！



（長崎北陽台高校 嶋田 瑞月）

私は先日、自衛隊佐世保病院を見学させていただきました。病院の概要について、手術室や高圧治療室など、普段は入ることのできない場所を見学したり、病院の先生方と懇談させていただきました。

私は防衛医科大学校を志願しているのですが、防医大の先輩である先生方に直接お話を聞けるといいのは私にとっても大きなものでした。特に印象に残っていることは、私が防医大に受かるために大切なことを聞いたとき、副院長の田村先生が「最後まで諦めないことだ。」とおっしゃっていたことです。

この言葉を聞いて、防医大を絶対に諦めない、絶対合格するという決意が固まりました。



先生方はとても優しく、また、機械や治療法についてわかりやすく教えて頂き、高校の勉強にもっと関心を持つきっかけになりました。

最後にこのような機会を与えてくださった琴海地域事務所の方々、病院関係者の方々、本当にありがとうございました。